

令和7年度 教科専門 中学校(英語) 解答例 (4枚のうち1)

受験校種	中	教科科目	英語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

1

1	2	3	4
イ	ウ	イ	イ

2

1	2	3	4
イ	ウ	ウ	ア

3

1	2	3	4
ウ	ア	エ	イ

4

1	2	3	4
ウ	エ	ア	ア

5

1	2	3	4
エ	ウ	ア	ア

6

1	2	3	4
ウ	ア	ウ	イ

7

1	2	3	4	5
ウ	ウ	イ	エ	ア

8

1	2	3	4
ア	イ	ウ	イ

9

1	2	3
イ	エ	ア

令和7年度 教科専門 中学校(英語)解答例 (4枚のうち2)

受験校種	中	教科科目	英語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

10

①	②	③
再構築	言語活動	文法
④	⑤	⑥
発音	概要	社会的な話題

11

〈例〉

It is important to devise various language activities that allow students to repeatedly come into contact with the vocabulary and expressions they learned in elementary school through communication in meaningful contexts.

Therefore, teachers should fully consider the content of foreign language activities in elementary schools and the actual state of instruction. Also, teachers should choose the topics based on actual scenes of communication to attract students' interest.

It is also important to check if our students have fully acquired what they learned in elementary schools.

令和7年度 教科専門 中学校(英語)解答例 (4枚のうち3)

受験校種	中	教科科目	英語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

12

※下線部はあらかじめワークシートに記載済み

Hi Mike,
Thank you for your e-mail.

I like baseball very much.

My favorite team is Eagles. Kenta good play.

I like ice cream and chocolate, too.

Goodbye.

○○○ (生徒の名前)

(例) Oh, you like baseball ○○○ !
 Me, too. Good job!

(例) Is Kenta a player of the Eagles?
 Kenta をどう紹介したいのかな?

(例) 野球と食べ物、ホームステイ中にホストファミリーとさらに共有したい話題はどちらかな? ホストファミリーにも好きなことを聞いてみては?

1

2

(例)

- ・小学校で慣れ親しんだ語句や表現を用いて、英語の書き方の規則や語順を意識させるとともに、生徒一人一人をよく見取り、個の習熟度に応じてヒントを示したり、辞書の使用を促したり、直接的・間接的に誤りの修正を行うことが大切である。
- ・自分の考えや気持ちをペアやグループで口頭で伝える活動をした後に、その内容を書いてまとめたり、メモを書いた後に相手に口頭で伝えたりするといった、「話すこと」と「書くこと」の順序についてバランスを取りながら指導にあたる。(その他の領域を関連付けた指導についても可。)
- ・受け手を意識し、状況設定を明確にした上で、考えや気持ちなどが伝わるように文章が書けるよう、生徒が関心をもっている身近な話題や体験などと関連付けて、意欲的に書く機会を増やす工夫を行う。
- ・生徒と直接的な対話によって書きたい内容を引き出しながら、書く活動への抵抗感を減らしたり少しずつでもその内容を表現したりできるように支援していく。

令和7年度 教科専門 中学校(英語)解答例 (4枚のうち4)

受験校種	中	教科科目	英語	受験番号					
------	---	------	----	------	--	--	--	--	--

13

(例) 思考力、判断力、表現力を高めるためには、英文を読んで内容を理解するだけの活動ではなく、読んだことをもとに自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えるなどの言語活動のように一つの技能だけで完結するのではなく、技能を統合した言語活動を行う必要があると考える。例えば、お世話になった ALT から届いた手紙に対して、適切な返事を書くことができることを目標に行う言語活動を一例として挙げる。この活動は、読む活動と書く活動をつなげた言語活動である。お世話になった ALT が帰国し、その後中学校に手紙が届くという場面設定である。返事を書くためには、手紙から必要な情報や相手の考えを読み取り判断し、理解した情報を整理する必要がある。また、その内容を受けて、どのように返事をすればよいかを思考し、英語でどのように表現するかを判断することにつながり、思考力、判断力、表現力が高まると考える。1 単位時間の授業で完結することは難しいと思われることから、手紙を書くことを単元のゴールとし、それまでのプロセスとして、英文を読み取ること、返事の内容を考えること、伝えたい内容をペアで口頭練習をしたり、内容を整理したりするなど、自信をもって英語で書くことができるような手立てを講じることで思考力、判断力、表現力を高めたい。